

氏名	小澤 昭彦	部署	社会福祉子ども学科	職名	教授
研究分野	職業リハビリテーション、リハビリテーション心理学				
学位	博士（学術）				
学歴	1989年東京学芸大学教育学部初等教育教員養成課程、1993年日本大学大学院（博士前期課程）文学研究科心理学専攻、2002年筑波大学大学院（修士課程）教育研究科、2009年首都大学東京大学院（博士後期課程）人間健康科学研究科				
経歴	1993年日本障害者雇用促進協会職員、2003年独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構職員、2010年岩手県立大学 社会福祉学部准教授、2018年岩手県立大学社会福祉学部教授、2023年埼玉県立大学保健医療福祉学部教授				
所属学会（役職）	日本精神障害者リハビリテーション学会、日本カウンセリング学会、日本保健科学学会				

【2024年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名
1	該当なし					
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）		発表等年月
1	該当なし					
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）		発表等年月
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称		研究名	研究代表者・研究分担者の別		研究期間
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）		障害のある従業員に対する職場での配慮における事業主の意思決定モデル	研究代表者		2021.4～2025.3
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	精神保健学	○	15	精神保健福祉士の国家試験の過去問を使用したり、実際の事例として動画を用いたりして、学生の学びが深まるように努めた。		
2	精神保健福祉の原理Ⅱ	○	15	原理と理念といった抽象的な概念について学生の理解が促進されるように、出典元の資料や動画の活用に努めた。		
3	ソーシャルワークの理論と方法（専門）Ⅱ	○	15	社会福祉士の国家試験の過去問を使用したり、実際の事例として動画を用いたりして、学生の学びが深まるように努めた。		
4	ヒューマンケア論		4	学科の科目責任者として、科目の運営に関する学科内の円滑な連絡調整を図った。		
5	保健医療福祉とリハビリテーション	○	7	障害者権利条約やリハビリテーションの4領域について取り上げることで、広範かつ多面的な視野が学生に身につくように努めた。		
(2) 演習						
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	ソーシャルワーク演習Ⅳ		15	聴覚障害のある学生からの配慮の要請を受け、当該学生に対する情報提供が確実になされるように、当該学生の理解の確認に努めた。		

(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	IPW実習		2024年8月～10月	学生の議論が活性化するように、施設ファシリテータと連携しながら、学生の主体性を尊重した議論のファシリテーションに努めた。
2	精神保健福祉援助実習指導Ⅰ		15	学生が、実習に対する疑問点をグループワークを通じて自ら解決できるように、カウンセリング技法を参考に共感的に関わった。
3	精神保健福祉援助実習指導Ⅱ		15	学生が、実習に対する疑問点をグループワークを通じて自ら解決できるように、カウンセリング技法を参考に共感的に関わった。
4	精神保健福祉援助実習指導Ⅲ		15	学生が、実習に対する疑問点を自ら解決するだけでなく、他の学生にも積極的に助言できるように、カウンセリングの手法を活用した。
5	精神保健福祉援助実習Ⅰ		2024年6月～9月	精神科ソーシャルワークにおけるマイクロ・メゾレベルの視点を学生が得られるように、巡回指導で学生に助言した。
6	精神保健福祉援助実習Ⅱ		2024年7月～9月	精神科ソーシャルワークにおけるマイクロ・メゾ・マクロレベルの視点を学生が得られるように、巡回指導で学生に助言した。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	通年	主指導 2名	副指導 0名
2	博士論文	通年	主指導（指導教員） 2名	副指導（指導補助教員） 0名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	該当なし			
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	日本社会福祉学会秋季大会（日本福祉大学）学会企画セッション シンポジスト	日本社会福祉学会	社会福祉における「つながること」を再考する－「つながり」と「匿名性」－	2024年10月
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	春日部市障害者計画等審議会	会長		2023年7月～2026年6月
2	越谷市社会福祉審議会 障害者福祉専門分科会	会長		2024年5月～2027年5月
3	越谷市社会福祉審議会（全体会）	大会長		2024年5月～2027年5月
4	独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構	研究評価委員		2022年9月～2024年4月
5	独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構	第44回全国障害者技能競技大会授賞選考委員会委員		2024年9月～2025年3月
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			

5. 学内運営			
	項目	内容	期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	学部入試委員会	2023年9月～2026年3月
2	全学的委員会及びセンター業務等	大学院入試委員会	2023年9月～2026年3月
3	全学的委員会及びセンター業務等	大学院入試評価分析部会 部会長	2024年4月～2026年3月
4	全学的委員会及びセンター業務等	教員人事委員会資格審査会の委員候補者選考のための代議員会 議長	2024年4月～2025年3月
5	学科等における委員会等	3年次生学年担当	2024年4月～2025年3月
6	学科等における委員会等	社会福祉学専攻カリキュラム検討ワーキンググループ	2024年4月～2027年3月
7	学科等における委員会等	社会福祉士国家試験に係る教員による科目別対策講座（1回）	2024年12月
8	大学広報活動	オープンキャンパスへの参加（2回）	2024年6月～2024年8月
9	大学広報活動	高校訪問への参加（2回）	2024年5月～2024年6月
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	該当なし		